

第195回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成28年2月)

2016.2.25

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第195回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年 2月25日(木) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ3F大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

委員 長	村 田 久
委員	そのだ つくし
委員	畠 山 さゆり
委員	田 口 信之
委員	小 原 俊英
委員	小 松 豊
委員	佐 藤 克也

欠席委員数 0名

### 会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作局次長	川 村 茂
報道制作局担当部長	八 幡 賢
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	三 浦 茂 樹
番組審議会事務局	佐 野 尚

#### 4. 議 題

- (1) 合評番組：「スーパーJチャンネルいわて」  
放送日時：平成28年2月11日(木)午後6時15分～55分
- (2) 3月単発番組及び2月の視聴率について
- (3) 次回審議会  
開 催 日：平成28年3月30日(水) 午前11時～  
場 所：岩手朝日テレビ3F大会議室  
合評課題：テレメンタリー2016「誰がために街はある～仮設飲食店街の苦悩～」  
放送日時：平成28年2月27日(土)午後1時55分～午後2時25分
- (4) その他

#### 5. 概 要

- ・委員からは「地域に密着したニュースや話題がわかりやすく取り上げられている」「岩手公園で行われた雪明りの映像を流しながらの天気予報は、和やかな雰囲気醸し出して良かった」という評価があった。
- ・一方、「飲食店の料理や人気の温泉を紹介する特集で、料金や連絡先の表記が一部無かった。視聴者への情報提供に配慮してほしい」という意見が出た。

## 6. 議事の内容

三浦事務局長) 本日もお忙しい中お集まり頂きありがとうございます。只今より、第195回岩手朝日テレビ 放送番組審議会を始めます。本日は委員の皆様 全員のご出席です。ありがとうございます。1月より番組審議会を担当しております三浦茂樹でございます。改めまして、宜しくお願いいたします。

本日の合評は、2月11日(木)に放送しました「スーパーJチャンネルいわて」です。報道制作局から佐々木局長、川村局次長、そしてデスクの八幡担当部長が出席しております。合評の際は宜しくお願いいたします。それでは村田委員長、議事をお願いいたします。

村田委員長) おはようございます。富永社長、宜しくお願いします。

富永社長) 年度の視聴率ですが、県内で民放2位がほぼ確定しました。本日の合評課題でもあります「スーパーJチャンネルいわて」ですが、このところ視聴率が好調で2月3日放送では視聴率が13.0%、過去最高の数字になりました。同じ日のTVIのニュース「プラスワンいわて」は13.7%と0.7ポイントまで迫ることが出来ました。IBCの「ニュースエコー」は8.4%、MITの「みんなのニュース」は7.4%ということでした。Jチャンいわては元々目標視聴率を9.0%に設定していました。設定当初はなかなかここまではいかないだろうと考えていましたが、年度の視聴率が今現在8.8%までになっていて、目標まで0.2ポイントのところまでできています。いずれは2ケタの視聴率のなれるよう頑張りたいです。

村田委員長) ありがとうございます。何もなければ単発と視聴率について事務局からお願いします。

三浦事務局長) では、3月の単発番組と2月の視聴率についてお手元の資料に基づいてご説明させていただきます。まずは単発番組です。3月はIAT制作の番組が多いので、こちらを中心にご説明して参ります。3月5日午後1時から「第12回IATジュニアCUPダイジェスト」をお送りします。小学生を対象にしたスキー・スノーボードの大会はIATの主催イベントであり、シーズン全3戦開催しております。今年で12回を向かえる恒例の大会になりました。より大会を盛り上げるよう1戦と2戦の様子をダイジェストでお送りします。3月11日は東日本大震災から5年を向かえ、特別編成を予定しています。午後2

時から「スーパーJチャンネルSP 東日本大震災から5年」テレビ朝日ネット番組で、各被災県から生中継でお送りします。続いて午後3時50分からは「IAT報道特別番組 東日本大震災から5年(仮)」を放送します。県内の震災後の街づくりや被災地が抱える課題について検証します。大船渡市三陸町の進まない被災地利用の課題や釜石市の仮設飲食店街を予定しています。3月12日午前10時50分からは「体験！発見！イーハトーブいわて暮らし」です。この番組は、岩手県の「ふるさと創生事業」の企画コンペに提案し指名を受けた番組です。県外からの移住・定住を考える人に、岩手のよさを知ってもらうための番組です。岩手出身の村上弘明さんが若手タレント4人に岩手の移住体験を指令し、県内4エリアに分かれて、りんご農家や牧場、酒造り、漁業など体験しながら岩手の暮らしを体験、満喫してもらう内容です。3月19日午後0時55分から「釜石の春 釜石高校選抜甲子園出場記念特番(仮)」を放送します。21世紀枠として20年ぶりに出場する釜石高校を応援する番組。仮設住宅から通学する部員や今だ家族が行方不明になっている部員などがいる中、甲子園への夢をつかんだ彼らの思いをお伝えします。3月21日午後2時から「北海道新幹線開業直前！東北・北海道の魅力再発見 贅沢“大人旅”」(仮)をお送りします。HTB発局で、ABA・IAT・KHBの4局共同制作番組です。北海道新幹線開業を記念し、北海道・東北の観光スポットを紹介するちょっと贅沢な大人旅です。同じく午後3時55分から「Believe10 ～あの日から・・・それぞれの5年」(仮)をお送りします。ピリブはシリーズで10本目。今回は陸前高田から盛岡の高校へ進学し、スケートで国体4年連続の入賞を果たした18歳の女子高生や復興のシンボルである三陸鉄道の新入社員たちに焦点をあて、震災後5年間の足跡と思いを追います。

次に、2月の視聴率についてです。ご覧のように全日 8.4%、ゴールデン13.1%、プライム13.2%、プライム2 7.1%となり、視聴率順位としては全日2位・ゴールデン3位・プライム2位・プライム2 2位となりましたが、NHKを除いた民放局では全ての時間帯で2位でした。ゴールデン・プライム帯では木曜午後9時「スペシャリスト」が平均15.5%、金曜午後9時「こんなところに日本人」が平均18.2%と高視聴率となり、同じく金曜午後11時15分「スマカスミレ」が平均9.9%と好調でした。スペシャル番組では、2月11日(木)に放送した「徹子の部屋祝40周年最強夢トークスペシャル」が20.0%と高い視聴率を取ることができました。地元出身の大谷選手効果や明石家さんまなどの豪華ゲストの出演が注目

されました。ベルト番組では「報道ステーション」が2週平均13.5%本日の合評にもなっております「Jチャンネル」は平均10.3%と、月間視聴率としては過去最高の数字になりました。特に2月3日放送の13.0%は過去最高。土日編成では、日曜午後4時30分放送「報道ステーションSUNDAY」が平均15.5%と健闘した。2月の視聴率については以上でございます。

村田委員長) 単発と視聴率についてご意見ありますか？ なければ合評課題に移らせていただきます。今日は小原さんからお願いします。

小原委員) この時間帯はローカル局各社がそれぞれの個性を出しながら、地元のニュースを中心に番組を制作している。全体的な流れは、地元のタイムリーなニュース、震災関連のニュース、スポーツ、特集、天気情報という感じ。展開的には分かりやすい。内容的には最初に花巻のたろし滝、毎年この季節には地元の人々は分かっている話だし、特に農業関係者は注目している。季節的にはバッチリな内容。2つ目はわんこそばの全国大会、岩手県特有のイベントであり非常にいいネタ。全体的に説明やテロップの使い方、インタビュー、カメラワークなど分かりやすく、初めて見た人もかなり理解ができるのではないか。そのあと震災関連ネタが2つあった。震災から5年経つが風化させないためにも、ことあるごとに取材・放送をしてほしい。その後のスポーツ、地元出身の大谷投手のアメリカキャンプの紹介。その後は冬季国体関連でミニバイアスロンの取材、非常に良かった。その後は特集、鍋物シリーズが初めにあって、沿岸で被災した方々が盛岡で沿岸の素材を提供する店の紹介。特に良かったのは料理を紹介する際のカメラアングル。アップで映った料理がとてもおいしそうに見えた。温泉紹介コーナーではゆこたんの森が紹介されたが、これは普通だった。天気情報で放送した盛岡雪明りの映像は印象的で、個人的には一番魅かれた。最高気温と最低気温のベスト5の発表は他局では見たことがないので非常に良い。全体的には見やすく良いが、気になった点もいくつかあった。

わんこそば大会のシーンで出場したIATチームに多く尺が使われていたが深い意味はあるのか。国体関連でミニバイアスロンの紹介があったが、できれば本大会に直結するような情報だったら尚良かった。温泉紹介のゆこたんの森では、日帰り温泉の入浴料と宿泊料金に大きな開きがあり少々違和感があった。番組の流れだが特集終了後、水かけ祭り、交通事故、天気情報（雪明り）、火事と続いた。これは何か意味があ

るのか疑問。2人のMCにはまだ硬さが見られる。原稿を読む以外で、喜怒哀楽を出しても良いのでは。

小松委員)

番組放送日は2月11日で建国記念の日。その日らしいイベントのニュースは無いのか。思想的なネタはあえて取り上げなかったのか。たろし滝のシーンでは中尾アナがリポートをしていたが、場所(葛丸川)がいまいち分からなかった。地理的に分かるように工夫してほしい。保存会の方の国体を題材にした川柳はいらないかも。インタビューが子供、高齢者、若い女性の方と年齢的バランスが良く、いいコメントが取れていた。わんこそば大会のシーンではIATチームが出場するのはご愛嬌だと思うが、なぞかけは必要ないか。震災から4年11カ月として山田町の一斉捜索では内容が代わり映えしないので、ここ1年以内の捜索で何か成果があったか伝えた方が良い。大谷投手の実戦初登板では、同郷の県人としては誇らしく感じる。八幡平市のミニバイアスロンでは、私自身どんな競技か分からなかった。細かく説明していたのは良かったし、阿部選手のインタビューが明るく好感が持てた。シリーズあったか冬グルメでは畑山アナウンサーの食リポが板についていた、安心して見ていられる。鍋がいろいろ出てきたが値段が無かった。出来れば出してほしい。行ってみようかなという気持ちになるのではないか。温泉特集では、雫石ならではの食事に刺身がアップで出た。雫石でマグロは捕れないはずだが。原稿の内容と映像をうまくあわせるように工夫してほしい。天気予報の雪明りは開催が危ぶまれる噂があったが、今年は雪像を減らしているという説明があり納得した。最高・最低気温、地域別の気温が非常に見やすく視聴率好調の原因の一つになっているのかも。

佐藤委員)

番組全体としてはパターン化されていて見やすい。ニュースは11項目。たろし滝では、中尾アナがリポーターだけだったけどもう少しひねった内容のニュースができたのではないか。わんこそばではアナウンサー対決はご愛嬌。IATは4位と振るわず残念。震災から4年11カ月ということで防災シンポジウムの説明していた野田村保育所の奇跡の脱出の話は知らなかった。野田村出身の絵本作家・宇部さんが紹介されていたが、県出身者のさまざまな活動も時々取り上げてほしい。シリーズあったか冬グルメのコーナーでは、畑山アナの食レポも良かったが、値段の表示がなかった。表示があった方が視聴者も行きやすくなるし店の宣伝にもなる。湯けむり紀行のコーナーではゆこたんの森が取り上げられていた。少し前に「いいコト！」でもやっていたので、番組同士内容がかぶ

らないようには出来ないのか。工夫してほしい。料金表示は明確で良かった。大原水かけ祭りでは、ぜひ新人アナを出場させてほしい。裸にして走らせればうけると思うし、PRになるのではないか。天気情報は画面が見やすく好印象。ゴエティーのワンポイントも可愛らしい。ニュースの内容ではないが、MC席の国体表示が小さい気がする。県のイベントのPRなのでもっと目立たせた方が良い。ニュースで顔出しする記者やインタビューを受けた人が若く、番組全体が明るく感じられた。

そのだ委員)

MCの岸・藤原アナのコンビが良い。あったか冬グルメでの鍋料理の紹介では情報番組のようにテロップやBGMで盛り上げて良いのでは。鍋のコーナーでは畑山アナがうまいなど。「いいコト！」で鍛えられているからか。湯けむり紀行のゆこたんの森は雫石なので地元だが、料金が高いイメージがある。良く取り上げてもらうのはありがたいが。事故等の暗いニュースと楽しい話題のニュースがバラバラに放送されている感じが違和感を覚える。わんこそば大会では、若い2人のアナウンサーが出場していたが、各局のアナウンサーが出場していたのならその全体を見てみたかった。大原水かけ祭りでは祭り自体が裸で駆け抜けるのでじっくりは見られない。よってインタビューを多く取り入れていたのが良かった。

田口委員)

番組全体からみると、地域の情報が豊富で見やすくなっている。特に岩手に赴任して間もない私にとっては大変うれしい情報だ。内容ではたろし滝の凍った映像に興味を沸いた。わんこそば大会では楽しいイベントだと感じる一方、そばを一生懸命食べている姿は美しいものではないなど。最近のバラエティー番組だとアナウンサーがタレント化しているようだが、わんこそば大会に出場していたアナウンサーも同じ類に感じた。番組の立ち位置に疑問を感じる。震災関連では一斉捜索に胸が痛くなった。スポーツでは大谷投手や国体の話題に興味を沸いた。鍋料理では寄りの映像がおいしそうに見える良かった。最後に建国記念日だったがその情報がなかったので疑問が残った。

畠山委員)

視聴率が最高で13%を獲得するニュース番組だなと実感することが出来た。この放送時間帯にしっかり視聴する人がどれくらいいるのか分からないが、万人に受けるという点では食事の支度をしながら見る人でもなんとなく全体が分かる、しっかり見ている人には内容を深く理解してもらえるような構成になっていると思う。内容も季節の風物詩、防災、スポ

ーツ（世界と地域）、グルメ、事故、天気情報、予告と大まかに分類されていた。温泉特集のゆこたんの森では、料理にインパクトがない割には宿泊料が高額。雪を見ながら入れる風呂が宿泊者専用だったのでそのテロップを入れてほしかった。

村田委員長)

番組全体の流れとしては、地域のニュースと話題を丁寧に取り上げている。特に綿密な取材とカメラアングルによって番組の内容が分かりやすく興味がそそられるものになっている。たろし滝ではインタビューの対象者が世代ごとの分かれていて、それぞれ違った感想が述べられていたのが良かった。高齢者から子供まで、そういうインタビューの取り方は今まであまりなかった。震災関連では一斉捜索の後に防災シンポジウムを放送したのは、視聴者にとってより理解を深められ防災の重要性をアピールできたと思う。温かい話題や地域の特性などが続いた後に悲しい話題が入ってくると、少々残念な気持ちになる。放送するニュースの順番にもっと気を配っても良いと思う。天気予報については雪明りの映像から和やかな雰囲気伝わった。単なる天気予報とは違う良さが醸し出されていた。天気図は色分けがしっかりしていて見やすい。あったか冬グルメでは季節に合った鍋料理の紹介でおいしそうに感じたが、食材の説明が足りなかった。2店舗の料理が紹介されていたが、店舗の営業時間・連絡先・料金が入っていなかった。料理の映像が良かっただけに残念。湯けむり紀行で紹介された宿の連絡先もなかった。夕方ニュースが盛り上がってきているだけに、細かいところに気を配らないと。大原水かけ祭りだが、もう少し時間をかけて取材してほしい。毎年恒例の祭りということでさらっと放送するのではなく。そういうところを気を付けて行けば、視聴率ももっと上がっていくと思います。以上です。

他にご意見ございますか、なければ八幡さんから一言お願いします。

八幡担当部長)

興味を持って番組を見ていただき、ご意見も多くいただきました。ありがとうございます。

まずこの日は建国記念の日でそれに関するイベントがいくつかありました。午前10時から水産会館で建国記念の日に反対の立場の人たちのイベントが、午前10時30分から県公会堂で賛成の人たちのイベントがありました。当初は2つを取材する予定をしていました。反対イベントの方が早い時間だったので、水産会館で取材をし、その足で近くにある賛成イベントの公会堂に行くことにしていました。水産会館で取

材後、県公会堂に行ったところ、イベントはほぼ終了して  
いました。主催者側のリリースに誤りがあったとのこと  
です。実際のところ午前10時に両イベントがスタート  
していましたが、賛否両論あるイベントを片方は頭から  
しっかり取材し、片方は終わりかけの万歳の映像しか  
ない内容となってしまいました。両方を公平に扱えな  
いのであれば意味がないので、両方のニュースを取  
りやめました。

わんこそばと大原水かけ祭り、どちらも似たような  
事情があります。わんこそばはイベントが午前10時  
30分から始まり、アナウンサーの局対抗部門は午後  
0時30分から始まりました。その後、メインの個人  
戦に向かうという内容でした。最終的に神奈川の男  
性が優勝した個人の部は午後3時からのスタート  
で、表彰式は午後4時過ぎでした。当日のニュース  
が午後6時15分スタートですので、そこを考えると  
編集が間に合わなくなる事情がありまして、表彰式  
まで撮影することが時間的に厳しかったです。大原水  
かけ祭りもスタートは午前9時でしたが、メインの水  
を掛けられながら走る行事は午後3時からのスタート  
でした。一関市内とはいえ旧大東町での開催で、そ  
こから映像を送る伝送ポイントである一関市内の場  
所まで戻ることを考えると長く取材が出来ないとい  
う事情がありました。例えば当日放送しないで翌日以  
降尺を長くして放送するという考え方もありますが、  
その日に起きた事をその日に放送するということを  
優先する方法を取ったことからこのような結果にな  
りました。死亡事故のニュースですが昼ニュースで  
扱ったものなので、夕方ニュースでは番組の後ろ  
の方で放送しました。事故内容はツーリング中の男  
性の単独事故、映像は事故現場と路肩のバイクで  
した。結果的に祭りと続く形となってしまいました。  
最後に放送した火事のニュースですが、実は各局そ  
の日のトップで放送していました。TVIは視聴者か  
らの投稿映像を、MITとIBCは地元の記者がやっ  
ておりました。当社は現在釜石に記者はいなく、火  
事発生を知るのは県の防災メールで情報を得ること  
が多いのですが、当時は釜石の情報がエラーのため  
我々のところまで入ってこなく、当日の他局のニ  
ュースを見て調べ始めたのが実情で、最後になん  
とか放送しました。今後人員が少ない中、情報を  
うまく取りこんで放送につなげていかねばと思  
い、記者やスタッフらと話しています。

佐々木  
報道制作局長)

この番組のターゲットですが、この時間の在宅率を  
考えますと当然ながら主婦と子供、50歳代以上の  
男女がメインになります。午後6時30分以降に  
なりますとサラリーマンの方も

帰宅し始めています。そういうところを狙いながらニュースの内容を考えています。この2年間視聴率が少しずつ上がってきていて今日に至りますが、ここ2年のコンセプトはとにかく分かりやすく作ろうという事と、その日あった出来事は早くその日のうちに伝えるという、臨場感を大切にしました。それから親しみやすさという点で、視聴者の方に間接的に参加してもらおうということでインタビューを多用するとか。自分がインタビューをされれば自然と見たくなりますし、いつの間にか番組に参加しているような気持ちになると考えています。八幡が先ほど申し上げたとおり、いろいろ試行錯誤があったり、時々情報の漏れがあったりしますが、トライアンドエラーを繰り返しながら良いニュースを放送できるように進んでいきたいと思えます。以上です。

村田委員長)            ありがとうございます。何もなければ事務局から次回  
の開催についてお願いします。

三浦事務局長)            それでは、次回についてお知らせいたします。次回の番組  
審議会は3月30日午前11時から弊社3階会議室での開催と  
なります。合評課題は、2月27日午後1時55分から放送し  
ますテレメンタリー2016「誰がために街はある～仮設飲食店  
街の苦悩」を合評課題とさせていただきます。是非、貴重な  
ご意見を宜しくお願い申し上げます。本日は貴重なご意見、  
ありがとうございました。

村田委員長)            ありがとうございます。それではこれをもちまして、番  
組審議会を終了します。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置  
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表  
朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。  
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。  
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項  
特になし
10. 配布資料
  - ◎ 3月単発番組編成予定表
  - ◎ 2月岩手地区視聴率